

保護者用 (7月3日～7月10日実施)

令和4年度 岐阜県立飛騨高山高等学校(通信制課程) アンケート結果

各項目について、A～Eの該当する覽に○印をつけてください。

- A よくあてはまる
- B ややあてはまる
- C あまりあてはまらない
- D まったくあてはまらない
- E わからない

対象	人数	回収数	回収率
保護者等	84	73	87%

*評価欄は上段は人数、下段は%である。四捨五入の関係で合計が100%にならない場合がある。

通番	項目	A	B	C	D	E
学 校 教 育 経 方 営 針	1 学校は、教育目標である「社会への貢献や地域の発展に寄与できる人材育成を目指し、社会人としての一般教養を身に付けさせるとともに、創造性にあふれ、明朗快活で心豊かな人間性を養う」やスクール・ポリシー(学校ホームページ参照)に努めている。	23	36	1	0	13
		81%		1%		18%
	2 お子様はよろこんで学校に行っている。	18	31	18	5	1
		67%		32%		1%
	3 単に学力だけでなく、健全な身体、豊かな心も含めた人間を育成しようとする校風が感じられる。	18	39	3	0	13
		78%		4%		18%
家 庭 と の 連 携	4 学校は、学校の教育方針や指導の内容を保護者(地域)に分かりやすく伝えている。	24	37	4	0	8
		84%		5%		11%
	5 学校からの連絡文書等は、保護者(地域)に確実に届けられている。	31	28	9	0	5
		81%		12%		7%
	6 学校は、保護者(地域)が授業や学校行事等を参観する機会等の有無、実施方法等について、新型コロナウイルス感染症対策等、生徒の安全を最優先にして、適切に計画している。	47	21	0	0	5
		93%		0%		7%
	7 学校は、保護者(地域)の悩みや相談に適切に対応している。	28	28	7	0	10
		77%		10%		14%
8 学校は、ホームページ等を用いて、保護者(地域)へ様々な情報を速やかに伝えている。	29	30	2	0	12	
	81%		3%		16%	
9 学校は、部活動後援会等の関係団体の徴収金について、その予算や決算、経費の執行内容を詳細に公表している。	25	21	4	0	23	
	63%		5%		32%	
10 一斉配信メールサービスは有効に活用されている。	49	19	2	0	3	
	93%		3%		4%	
11 教職員は、各種文書や個人情報等を適切に管理している。	27	19	1	1	25	
	63%		3%		34%	
12 「通信」等をとおして、主体的に進路を選択し、決定できる能力の育成を図っている。	20	25	8	0	20	
	62%		11%		27%	
教 職 員	13 学校を訪問したり、電話したりしたときの教職員の対応(挨拶や話し方)が適切である。	38	28	2	0	5
		90%		3%		7%
	14 教職員は、学校経営や教育活動に熱心に取り組み、魅力ある学校づくりの意気込みが感じられる。	25	32	2	1	13
		78%		4%		18%
	15 教員は、スクーリングや添削指導をとおして、学力が向上するように指導している。	31	28	3	0	11
	81%		4%		15%	
16 学校は、体罰の防止に努めている。	33	13	0	0	27	
	63%		0%		37%	
17 学校の教職員は、働き方改革に努めている。	13	19	1	1	39	
	44%		3%		53%	
学 習 指 導	18 学校は、ICTを活用した学習活動や協働的な学びの機会、オンライン等での学習支援などにより、生徒の理解を高めようと努力している。	12	19	5	0	37
		42%		7%		51%
19 学校は、スクーリングや家庭学習への指導・支援等をとおして、一人一人の能力に応じた指導を行っている。	26	28	3	0	16	
	74%		4%		22%	

通 番	項 目	A	B	C	D	E
生徒指導	20 学校は、高校生としてのマナーや社会規範を身に付けさせるための指導を行っている。	22	25	2	2	22
		64%		5%		30%
	21 学校は、個々の生徒の相談に丁寧に応じている。	35	26	3	0	9
84%		4%		12%		
22 学校は、いじめや差別を許さず、厳しく対応している。	24	18	2	1	28	
	58%		4%		38%	
進路指導	23 学校は、進路説明会等、保護者が必要とする進路情報を提供する場を設けている。	25	27	3	1	17
		71%		5%		23%
24 学校は、生徒の進路希望に沿った適切なアドバイスをしている。	18	26	4	0	25	
	60%		5%		34%	
健全安全管理	25 学校は、生徒の安全・衛生面に配慮し、交通事故や痴漢防止等の安全指導を行っている。	27	24	1	0	21
		70%		1%		29%
26 地震や台風等の場合の対応について、生徒や保護者（地域）に対策マニュアルが知らされている。	39	24	1	0	9	
	86%		1%		12%	
学校行事	27 学校は、外部講師の講演や様々な体験活動等、授業以外の学習機会や学校行事の有無、実施方法等について、新型コロナウイルス感染症対策等を講じ、生徒の安全を最優先として適切に計画している。	30	29	0	0	14
		81%		0%		19%
	28 学校の部活動は、適切な管理体制のもとに行われている。	19	14	2	1	37
		45%		4%		51%
29 学校の施設・設備は、学習環境の面でほぼ満足できる。	28	34	2	1	8	
	85%		4%		11%	
30 学校は、ボランティア活動の大切さを教えると同時にその機会を提供している。	12	16	3	0	42	
	38%		4%		58%	
学校独自項目	31 飛騨高山高等学校通信制課程は、この地域になくてはならない重要な存在である。	65	5	1	0	2
		96%		1%		3%
	32 学校は、生徒にとってより良い人間関係を学ぶ場となっている。	32	27	4	1	9
		81%		7%		12%
	33 学校は個別スクーリングや学習会など、個別指導にも力を入れている。	42	22	1	1	7
88%		3%		10%		
34 学校が発行する「ご家庭の皆様へ」「飛騨通信」「クラス通信」などは、学校の様子を知るのに役立っている。	36	25	5	0	7	
	84%		7%		10%	
35 レポートに対する添削指導は、適切に行われている。	42	18	2	0	11	
	82%		3%		15%	
合 計		1013	861	111	16	554
		73%		5%		22%

令和4年度 岐阜県立飛騨高山高等学校(通信制課程)アンケート結果分析

保護者用 (7月3日～7月10日実施)

各項目について、A～Eの該当する覧に○印をつけてください。

- A: よくあてはまる
- B: ややあてはまる
- C: あまりあてはまらない
- D: まったくあてはまらない
- E: わからない

対象	人数	回収数	回収率
R4	84	73	87%
対象	人数	回収数	回収率
R3	79	51	65%

<肯定的評価上位5項目>

番号	項目	本年度	昨年度
31	飛騨高山高等学校通信制課程は、この地域になくてはならない重要な存在である。	95.9%	100.0%
6	学校は、保護者(地域)が授業や学校行事等を参観する機会等の有無、実施方法等について、新型コロナウイルス感染症対策等、生徒の安全を最優先にして、適切に計画している。	93.2%	90.0%
10	一斉配信メールサービスは有効に活用されている。	93.2%	100.0%
13	学校を訪問したり、電話したりしたときの教職員の対応(挨拶や話し方)が適切である。	90.4%	94.0%
33	学校は個別スクーリングや学習会など、個別指導にも力を入れている。	87.7%	92.0%

・昨年度と比較して全体的に肯定的評価は少し下がった(-3.1%)。飛騨地域に唯一の公立通信制高校として、地域の期待に応えられるよう、学校・保護者・地域が三位一体となり、通信制教育を進めていくことが求められる。今後も、保護者や地域の皆様からも意見いただき、学校と保護者、地域がより一層連携を深め、より良い通信制教育を進めていきたいと考える。

<否定的評価上位5項目>

番号	項目	本年度	昨年度
2	お子様はよろこんで学校に行っている。	31.5%	33.0%
5	学校からの連絡文書等は、保護者(地域)に確実に届けられている。	12.3%	10.0%
12	「通信」等とおして、主体的に進路を選択し、決定できる能力の育成を図っている。	11.0%	10.0%
18	学校は、ICTを活用した学習活動や協働的な学びの機会、オンライン等での学習支援などにより、生徒の理解を高めようと努力している。	6.8%	8.0%
34	学校が発行する「ご家庭の皆様へ」「飛騨通信」「クラス通信」などは、学校の様子を知るのに役立っている。	6.8%	2.0%

・「2お子様はよろこんで学校に行っている。」に関しては、昨年とほぼ同じである。スクーリングを楽しみにしてくれる生徒が増えるように、学校は魅力的な面接指導を行うように努力をしなければならない。
 ・ICTを活用した授業に関しては生徒の評価も保護者の評価も良くない。今後ICTを活用した効果的な面接指導について研究しなければならない。

<「わからない」との評価上位5項目>

番号	項目	本年度	昨年度
30	学校は、ボランティア活動の大切さを教えると同時にその機会を提供している。	57.5%	61.0%
17	学校の教職員は、働き方改革に努めている。	53.4%	33.0%
28	学校では、部活動が適切な管理体制のもとに、適切に行われている。	50.7%	53.0%
18	学校は、ICTを活用した学習活動や協働的な学びの機会、オンライン等での学習支援などにより、生徒の理解を高めようと努力している。	50.7%	27.5%
16	学校は、体罰の防止に努めている。	37.0%	35.0%

・「30ボランティア活動の大切さを教える」や「17働き方改革」については保護者からは見えにくい面である。
 ・「わからない」という評価が多いことから、活動などが生徒にもきちんと伝わっていないことが考えられる。まずは生徒自身に活動の意義を周知し、それが生徒から保護者に直接伝わるようにしたい。また、すぐメールや通信、ホームページを効果的に活用し、保護者にも積極的に伝える努力をしなければならない。